

6月1日（土）運動会 閉会式 校長の話

みんな、がんばりました。アレをいきますか。元気ですか！？元気があれば、火曜日からもがんばれます。

本気でがんばれたか、訊いてみます。

本気で演技、競争できた人、手を挙げて。

メリハリを本気でがんばった人、手を挙げて。

応援を本気でできた人、手を挙げて。

校長先生も、たくさんの方が本気でがんばれていたと思います。

では、校長先生が、見つけた本気のがんばりをお話しします。

まず、全学年の徒競走では、何番になってもゴールを越えてもスピードを落とさず、まだ走り抜ける姿、必死に競い合って負けないぞという気持ちが見られました。

次に、各学年の団体、表現の種目についてお話しします。

まず、3年生の「みんなでワッショイ！！」です。大玉を落とさずに走るために、4人がスピードを合わせたり、高さを合わせたりして走り、最後は4人でそおっと大玉を置いていました。走り終わっても、興奮を押さえながらしっかり座って応援していました。

2年生の「ハイパー大竹音頭～2024～」では、ふるさと大竹の伝統の大竹音頭に地域の皆様も喜んでいただけたと思います。手の指先の伸ばし方、膝の上げ方などにも本気が見えました。ハイパー大竹音頭は、すばやく激しい動きを、2年生みんなと合わせようとするがんばりが見て取れました。

1年生の「ダンシング玉入れ」は、身体全体をつかってダンスをがんばりました。玉入れでは、すばやく玉を拾っては、かごをめがけて何回も何回もがんばって投げていました。ダンスも玉入れも両方、気持ちを切りかえて本気でがんばっていました。

5年生の「たいふ～ん☆もんす～ん」は、内側回りと外側回りがあり、一人一人の走る速さも違います。3人か4人が、心をつにして、全体の速さも調整しながら、絶対に勝ちにいくという強い気持ちがよく伝わり、5年生の本気がわかりました。

4年生の「竹っ子ソーラン」では、難しい踊りを、腰骨を伸ばしておしりを地面まで落とす動き、声、移動も全力で本気を感じました。最後に2か所に集合したところは、声も聞こえずピタッと動きが止まってポーズができ、本気でメリハリができていました。

6年生の「Que será será」は、一言で言えば立派でした。小学校最後の運動会を締めくくりました。集団行動の風車の動きは一直線になって友達一人一人の速さを合わせる歩き方に思いやりの心が見て取れました。常に次の行動を意識して先のことを考えて動いている姿はさすがです。その後のダンスの難しい動きを集団行動と合わせ

て短い時間で完成させました。練習の時間からの本気がわかりました。

運動会のスローガン、「熱く燃えろ！笑顔の竹っ子！」のとおり、熱く本気でやるから楽しい、そして笑顔になるということを学びました。火曜日からの学習に活かしましょう。

そして、係の6年生と5年生の一部の人。自分の競技や演技もがんばりながら競技や演技の準備や片付け、放送や審判などたくさんの仕事をして、運動会を創りあげてくれました。みんなで感謝の気持ちを込めて拍手をしましょう。

最後になりましたが、ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、最後までご観覧、ありがとうございました、半日の開催としましたが、子供たちの本気のがんばりをご観いただけたのではないかと思います。引き続き、学校、保護者、地域が同じ方向を向いて一緒に子供たちを育てていきたいと思えます。これからも、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

では、皆さん、今日は本気でよくがんばりました。